

告 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんのご入学を心より歓迎致します。また、ご家族・保護者の皆様には、衷心よりお慶びを申し上げます。

本日ここに、ご来賓の皆様並びに学外講師の先生方のご臨席を賜りまして、医療法人弘仁会 熊本総合医療リハビリテーション学院の入学式を挙行できますこと、厚く感謝申し上げます。

今年度、理学療法学科 42 名、作業療法学科 19 名、臨床工学学科 35 名、義肢装具学科 18 名、救急救命学科 32 名、計 146 名の新入生の皆さんをお迎えすることができました。

新入生の皆さん。

皆さんお一人おひとは医療の専門職を目指し、高い志と大いなる期待を持って入学をして頂きました。本学では、皆さんのご期待に十分にお応えし、医療専門職に必要なとされる実践的かつ専門的な能力を修得して頂くために、医療専門教育カリキュラムを創出し、展開致しております。

このカリキュラムでは、学科ごとに精選された基礎分野、専門基礎分野及び専門分野にわたる教育内容について、能動型のアクティブラーニングや受動型のパッシブラーニングを組み合わせた独自の教育方法によって、より効果的・効率的な学習をして頂くことができます。

また、系統的な学習支援プログラム、実践的な社会人カプログラム、地域包括ケアシステムなど新たな医療ニーズのプログラム、そして総合的な国家試験対策プログラムを通して、新入生の皆さんが自己教育力を向上させ、ご自分の能力を大きく開花し、飛躍されることを強く期待致しているところでございます。

本学では、これまで開校以来、4,783 名の先輩方がこの学舎で学び、巣立っていかれております。その諸先輩は、現在、国内外の医療・福祉などの最前線でご活躍され、それぞれ多くの貢献を重ねてきておられます。皆さんは、先輩方が築いてきた医療専門職への道に向かって、今日から歩み出して頂くことになります。

ただし、同じ道をたどることではございません。皆さんお一人おひとりが、自分の道を自らの力で切り開いて進んで頂くことが必要となります。

そのために、医療や医学に関わる学内での専門教育に加えて、本学教育にご協力頂いております第一線の医療施設等での臨床・臨地実習にも取り組んで頂くこととなります。

本学の授業や演習・実習に真摯に向き合って頂き、学習への努力を積み重ねて頂くことは、皆さんお一人おひとりの目標である国家資格取得への最も確実な近道となります。皆さんが社会に貢献できる有能な医療人を目指して、私たち教職員と共に粘り強く努力され、勉学を重ねて頂くことを願っております。

皆さんにとって本学での学習の第一歩は、すでに踏み出して頂いたところです。昨日と一昨日の二日間にわたりまして、「入学前授業」として「物理学の基礎と医療への応用」という集中講義を受けて頂きました。この講義では、「理学療法学科」「作業療法学科」「臨床工学学科」「義肢装具学科」「救急救命学科」5学科のそれぞれの専門の医療内容と、それに関連する物理学の基礎についてお話を聞いて頂きました。また、この講義の中では、これからの勉強の仕方についてもお話をさせて頂きました。

受講された皆さんの授業評価は、いかがでしたでしょうか。授業担当者の一人と致しましては、授業中における皆さんの真摯な受講態度に接することができ、また、皆さんからの強い眼差を感受させて頂き、大変うれしく思った次第でございました。

来週月曜日から、専門の授業が始まります。

私たち教職員は、分かりやすい授業、より良い授業に向けて、日々、教授力、指導力の向上に研鑽を重ねているところでございます。新入生の皆さんの主体的・能動的な学びと、粘り強い努力の継続を強く期待致します。

本日の入学式の挙行にあたりまして、ご来賓の皆様、また学外講師の先生方におかれましては、大変ご多用の中、ご参列を賜りましたこと、深謝致しますと共に、厚く御礼を申し上げます。

最後になりますが、保護者の皆様に、ご支援とご協力をお願いを申し上げます。保護者の皆様のお子様へのご期待と私たち教職員の目標は、合致致してございます。すなわち、新入生の皆さんが本学での学習を着実に積み重ね、国家試験の合格、卒業、そして就職の道へとまっしぐらに進んで頂くこと。この目標に他ならないものと受け止めております。

ただ、未知なる医療・医学の学問の基礎と専門について、勉学への努力を持続していくことは、必ずしも容易なことではございません。しかし、新入生の方々が、今、お持ちの熱い志を温かくご支援を頂くこと、励ましの言葉をかけて頂くこと。そのことが、新入生の皆さんの自ら学ぶ力と勉学に向かう意志力を支えて頂く大きな力になるものと思っております。

どうぞご理解頂き、ご支援下さいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

新入生の皆さんが本学の教育を通して、医療人としての資質・能力の修得に

向け、充実した有意義な、そして楽しい学生生活を送られることを心から願い、
告辞と致します。

平成30年4月7日
熊本総合医療リハビリテーション学院
学院長 辻野智二